

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還交渉 (VOA)(I)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43645

総理・マイヤー大使会談



(回覧番号 640) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 極秘	符号表示 (暗) 略 平 第 492 号	総第 11 239 号
YYYY	大至急・(至急) 普通・LTF	発電係 (5)

大臣 政務次官 事務次官 200 外務審議官 200 外務審議官 官房長官	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	主管局部課(室)名 米局長 起案 昭和46年3月11日 起案者 電話番号 北/EI/E 2465
--	-------------------------------	--

協議先
米約局長
条約課長
安全保障課長

在米 403 (大領) 臨時代理大使
総領事 代理 大使 臨時代理大使
あて 外務 大臣 発

電報 在 大使 臨時代理大使
総領事 代理 あて

件名 VOA 内題 (限定配布)

往電米北2才 490号に付し、

1. 冒頭往電会談の際、マヤ-大使より、VOAの
存続につき米側が多大口関心を有し、自分
(「マ」大使)の序之2口右口沖繩返還問題に
関連する MOST CRITICAL ISSUE であり、

(※印欄内は電信係記入)

(昭和四二七一改正)

GB-1

総理、好意的配慮を要請致した。と述べた。

9に付し、総理より、本内題は日本側に
と、2口極々困難な問題とす。政府
0. 本内題に対する態度は変り、米側
に本口良案ありと承りたと述べた。

2. 「マ」大使は、米議会筋は VOAの存続を
認め、VOAの存在は、沖繩の基地の
EMERGENCYの場合に有効に使用
できると信じていると述べた。

2口2口御考慮願うたと述べた。

総理より、日本側からしはしは説明し、
とあり、本内題については、真重に取組む
べく2口2口とあり、政府の一貫した
態度を答へた。

GB-8

外務省

写
済
220